

# 2013年2月期 決算説明会



2013年 4月10日

J.フロント リテイリング株式会社

代表取締役社長  
山本 良一

 J. FRONT RETAILING

## J.フロントリテイリング株式会社

代表取締役会長 茶村 俊一

代表取締役社長 山本 良一

## 株式会社 大丸松坂屋百貨店

代表取締役社長 好本 達也

## 本日の内容

- I. 2012年度業績概要
- II. 2013年度業績予想
- III. 2013年度目標達成に向けた取り組み
- IV. 持続的成長に向けた取り組み
- V. ROEの向上と株主還元

# 2012年度業績概要

# 2012年度 連結業績

- ▶ 売上高はパルコ事業の連結化も寄与し1兆円の大台を回復
- ▶ 営業利益は3年連続増益、300億円を1年前倒しで達成
- ▶ 期末配当4.5円、年間では前年度から1円増配の9円配当

(単位:百万円)

2013年2月期	実績	対前年		対2Q予想	
		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高	1,092,756	151,341	16.1	△12,244	△1.1
営業利益	30,857	9,263	42.9	△943	△3.0
経常利益	32,202	9,261	40.4	2	0.0
純利益	12,183	△6,621	△35.2	△517	△4.1

- ▶ スーパーマーケット事業以外の全てのセグメントが増収増益
- ▶ 百貨店事業は増床・改装効果により26.8%の増益
- ▶ 下期から新たに「パルコ事業」をセグメントに追加

【セグメント別】

(単位:百万円)

2013年2月期	売上高		営業利益	
	実績	対前年 増減率(%)	実績	対前年 増減率(%)
百貨店事業	750,335	1.8	18,477	26.8
パルコ事業	137,845	—	5,898	—
スーパーマーケット事業	101,778	△9.6	△1,564	—
卸売事業	60,174	18.1	1,592	0.5
クレジット事業	8,592	4.5	2,951	29.4
その他事業	90,133	10.2	3,193	19.4

## ▶ 基幹店競争力向上に向けた大型改装への取り組み

### <上期>

名古屋店 ⇒ 第Ⅰ期改装(ラグジュアリー、ヤングファッション、化粧品、婦人雑貨など)

神戸店 ⇒ 食品売場を15年ぶりに全面改装、洋菓子・惣菜などを大幅強化

### <下期>

東京店 ⇒ 従来の1.4倍に増床グランドオープン(46,000m<sup>2</sup>)



(単位:百万円)

2013年2月期	実績	対前年	
		増減高	増減率 (%)
売上高	660,521	16,991	2.6
営業利益	15,462	4,073	35.8
経常利益	14,190	4,109	40.8
純利益	5,674	1,146	25.3

### 2012年度基幹店 売上高対前年増減率(%)

心齋橋店	△1.1
梅田店	1.7
東京店	21.3
京都店	0.0
神戸店	5.1
札幌店	1.6
名古屋店	1.9
上野店	0.2
銀座店	0.4

## ピーコックストア売却を決断した背景

当社が抜本的再建策を講じた場合

- (1) 不採算店舗閉鎖など大規模な店舗網再構築が必要
- (2) それに伴い、一時的にかなりの余剰人員が発生
- (3) 存続店舗の改装等追加設備投資が必要
- (4) 業績改善には相当の期間が必要

スーパーマーケットについてのノウハウや価格対応力を持つ企業の下での  
再建がベターと判断

2013年4月1日、ピーコックストア全株式をイオン株式会社に譲渡

# 2013年度業績予想

# 2013年度 連結業績見通し

- ▶ 営業利益、当期純利益は07年JFR設立以来の最高益へ
- ▶ ピーコックストアは1Qから連結除外、パルコは通年寄与
- ▶ 統合時の負ののれん償却、パルコ持分利益は前年上期で終了

(単位:百万円)

2014年2月期	予想	対前年		＜参考＞対前年 (除くパルコ・ピーコック)	
		増減高	増減率 (%)	増減高	増減率 (%)
売上高	1,150,000	57,244	5.2	19,337	2.3
営業利益	40,000	9,143	29.6	1,976	7.4
経常利益	37,000	4,798	14.9	—	—
純利益	29,000	16,817	138.0	—	—

# 2013年度 連結業績見通し

- ▶ 東京店増床、名古屋店改装効果などで百貨店事業は2桁増益
- ▶ 店舗閉鎖(郊外2店と銀座店)の売上への影響額は△150億円
- ▶ 配当は1円増配の10円(中間配当5円、期末配当5円)を予定

【セグメント別】

(単位:百万円)

2014年2月期	売上高		営業利益	
	予想	対前年 増減率(%)	予想	対前年 増減率(%)
百貨店事業	759,200	1.2	21,300	15.3
パルコ事業	275,200	99.6	11,500	95.0
卸売事業	62,000	3.0	1,900	19.3
クレジット事業	9,100	5.9	2,600	△11.9
その他事業	94,700	5.1	3,000	△6.1

## 2013年度目標達成に向けた取り組み

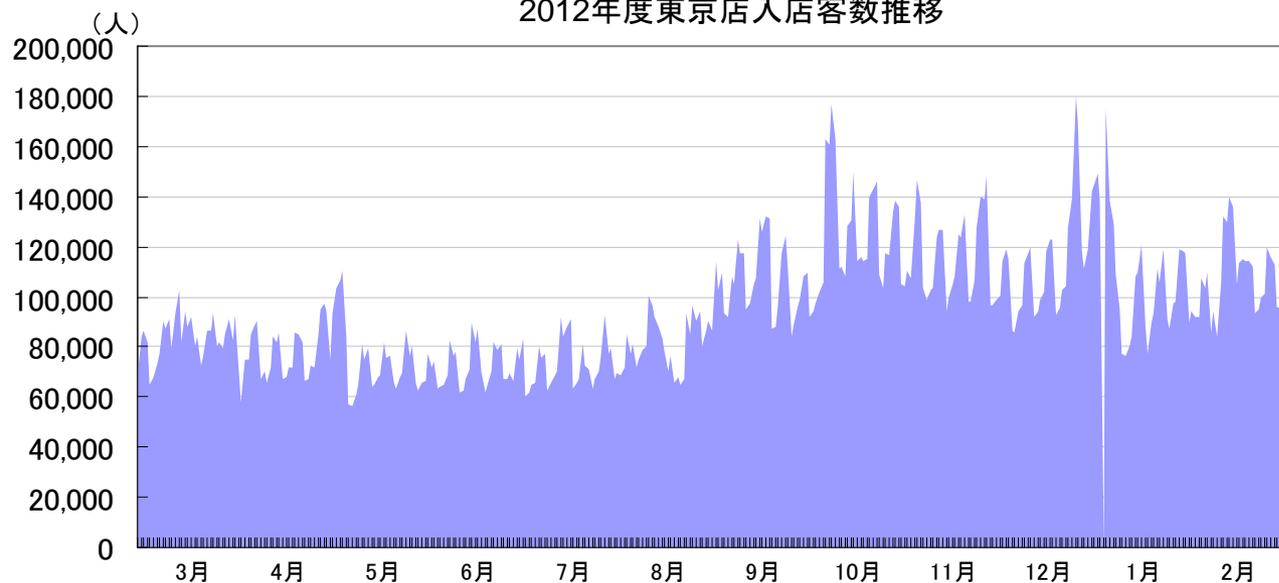
2012年10月5日 「増床グランドオープン」(46,000㎡・従来の1.4倍)

<2012年度>

入店客数は下期41.5%増。平日10万人前後、土日祝15万人前後がご来店  
売上は下期33.7%増、食品は更に強く、ラグジュアリー、大型専門店も好調

<2013年度>

下期に八重洲歩行者デッキが完成、東京駅や周辺からのアクセスが改善



2013年3月～6月(第Ⅱ期) 食品フロア改装

大改装の総仕上げ「名古屋随一のフードゾーン “ごちそうパラダイス”」の構築

## スケジュール

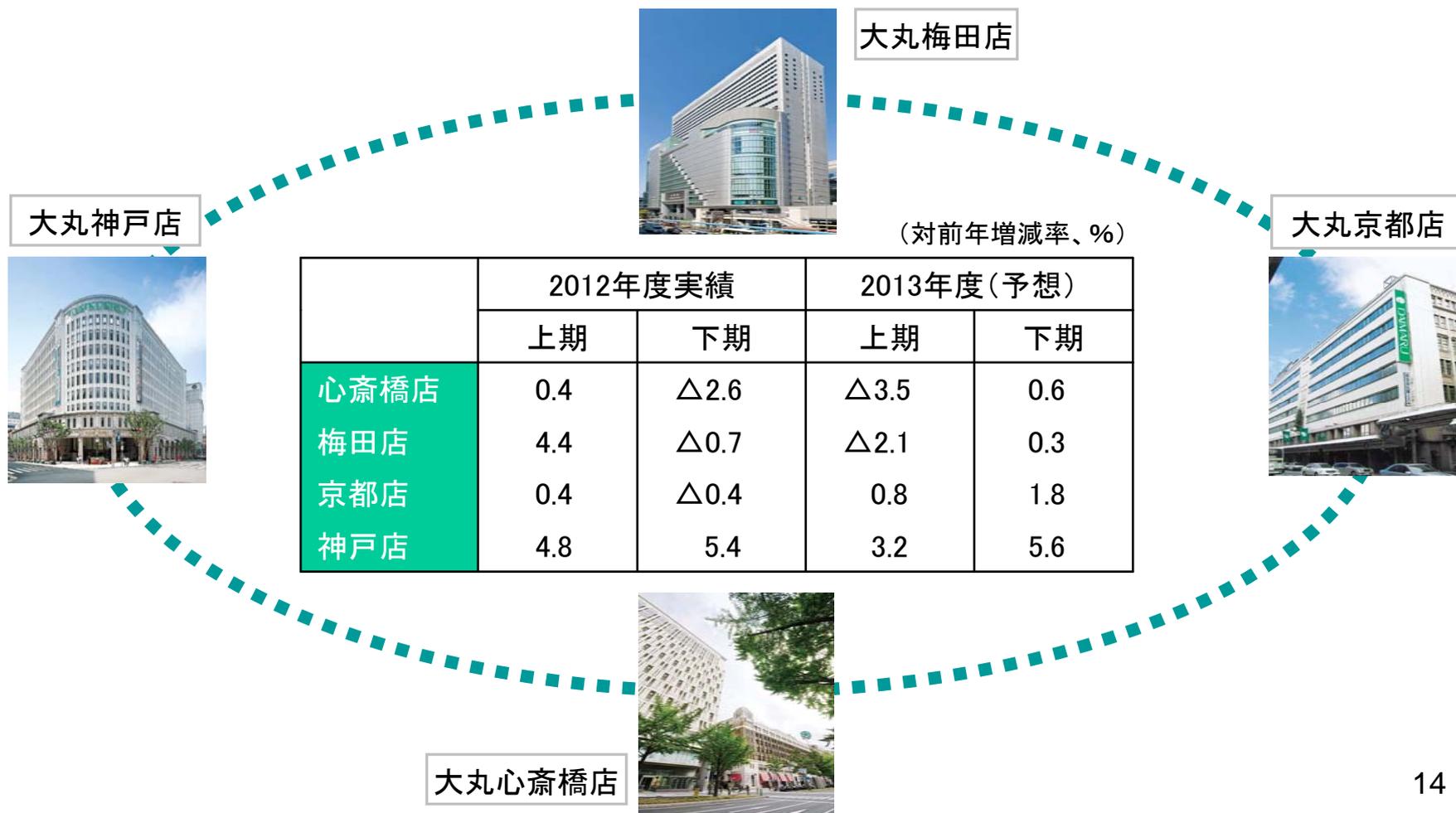
- 3/2 和洋菓子先行オープン
- ▼
- 3/20 生鮮食品オープン
- ▼
- 4/17 スペシャルティゾーン「ターブル・プリュス」
- ▼
- 4/26 和洋菓子オープン
- ▼
- 5/29 惣菜・グロサリーオープン
- ▼
- 6/12 老舗・銘店オープン



6/19 本館地1・2階 食品フロアグランドオープン

# 梅田地区競合対策

- ▶ 2012年度のうめだ阪急増床オープン影響は最小限に抑制(△14億円前後)
- ▶ 2013年度はブランド入れ替えや販促強化で、下期には4店ともプラスへ



昨年末からの株式市況の急回復

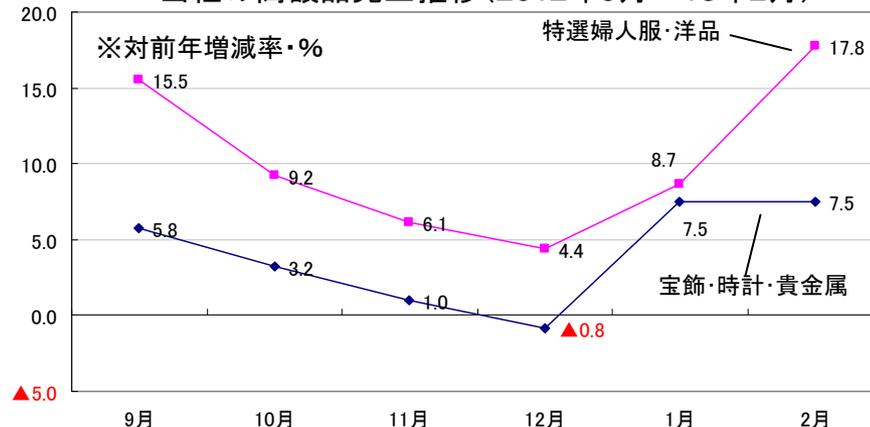
資産効果による消費回復への期待

当社は関西・中部の富裕層に圧倒的な強み

日経平均推移(2012年9月～13年2月)



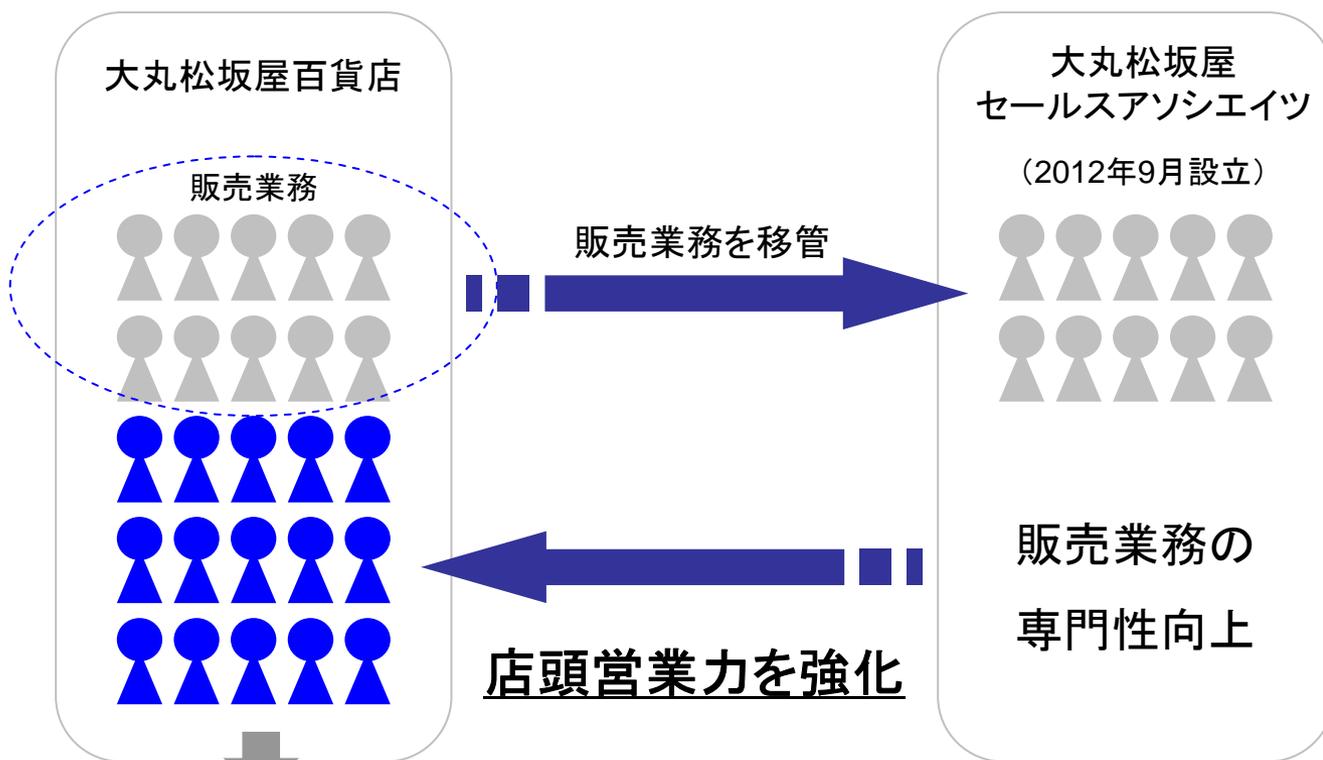
当社の高額品売上推移(2012年9月～13年2月)



ラグジュアリーブランド、宝飾・貴金属・時計など、高級品への需要が増大

大丸神戸店「エルメス」拡張、外商新規口座拡大、催事強化充実

## グループレベルでの運営コスト見直し・削減と、組織・要員構造改革の推進



2012年2月末 5,300名体制  
↓  
2013年2月末 3,500名体制  
↓  
2014年2月末 2,800名体制

JFRグループ人員  
2014年2月末 11,500名体制

## 持続的成長に向けた取り組み

# 海外事業展開①

- ▶ 3/29、台湾・台北市に「PLAZA TOKYO」1号店がオープン
- ▶ 2013年度は台北地区に4店程度を出店予定
- ▶ 台北での事業を軌道に乗せ、その後、台中や高雄、さらには他のアジア諸国へ



2012年5月、中国での本格的な高級百貨店の新設・運営に関する  
事業提携について、中国現地企業と基本合意

## <プロジェクト概要>

(黄浦区163号街区プロジェクト)

店名 : 上海新世界大丸百貨(仮称)

規模 : 【土地面積】13,709.3m<sup>2</sup>  
【建物延床面積】11.6万m<sup>2</sup>

【階別構成】地上7階～地下5階

うち百貨店は地上7階～地下2階

【営業面積】60,000～70,000m<sup>2</sup>

事業主体 : 上海新南東項目管理有限公司

スケジュール : 2015年初め頃に開業予定



中国で屈指の高級百貨店とするために、当社が支援・協力  
中国での百貨店出店と運営ノウハウの蓄積

## 銀座六丁目地区再開発計画



2013年6月末 松坂屋銀座店営業終了



開発工事着手



2017年 開業予定



従来の百貨店業態にとらわれず  
「世界の銀座」にふさわしい  
情報発信をリードする新しい商業施設に

## 松坂屋上野店南館建替え計画

商業・オフィス複合高層ビルへの建替えで、商業部分はパルコの出店も想定



2017年開業を想定

- ▶ 大丸松坂屋百貨店、パルコのトップ同士が定期的に会合を実施
- ▶ 両社ノウハウの相互活用を目指した人材交流もスタート  
⇒大丸松坂屋からパルコへ4名、パルコから2名



## シナジー発揮に向けた主な取り組み

共同での海外大型ブランド誘致・国内有力ショップ導入

パルコ業務運営モデルを参考にした更なるローコスト化

パルコのテナント契約ノウハウ活用

パルコでの自主事業の展開

※その他、大丸興業やJ.フロント建装など関連事業の協業について検討が進行中

## ROEの向上と株主還元

次期中期計画(2014-16年度)での営業利益500億円の達成

早期にROE8%の安定的な達成

リターンの拡大再生産



百貨店ビジネスモデル革新

海外事業

再開発、新規出店

M&A、事業の入れ替え

積極的な株主還元



利益水準をにらんだ  
持続的増配



2013年度10円配当予定

(3年連続増配)

Website

<http://www.j-front-retailing.com>

facebook

<http://www.facebook.com/J.FrontRetailing>



**J. FRONT RETAILING**

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。